

(2) 特例申告業務の改善



2022年12月8日
輸出入・港湾関連情報処理センター株式会社

項番	案件名	概要
A	特例申告に係るGY判定表示	特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示し、特例申告時に提出すべき添付書類の有無を確認可能とする。
B	特例申告の期限内訂正可能化	特例申告の期限内訂正に係る業務を新設し、事務効率化を図る。
C	一括特例申告の利便性向上	「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務について、輸入（引取）申告番号をシステムで補完し、事務効率化を図る。

A.特例申告に係るGY判定表示

区分	概要
1. 検討項目	特例申告に係るGY判定表示
2. 変更要望	特例申告控情報に添付書類提出の有無を表示し、特例申告時に提出すべき添付書類の有無を確認可能とする。
3. 次期仕様	<ul style="list-style-type: none">① 特例申告（申告等種別コード：T）及び特例委託特例申告（V）においてもGY判定処理を行い、特例申告控等の帳票等にGY判定表示をすることで、通関手続きの業務効率化を図る。② AEOにおいては提出不要の原産地証明書等について、現在、GY判定において要提出が出力されているため、これを改善し、特例申告（T）、特例委託特例申告（V）、輸入（引取・特例）申告（J）、特例委託輸入（引取・特例）申告（P）及び蔵出輸入（引取・特例）申告（R）において、要提出の判定表示を出力しない機能を追加する。③ 特例申告の期限内訂正についてもGY判定処理を行うこととする。

現行概要

- 通常の輸入申告であれば、通関関係書類を書面又は電磁的記録により提出する必要があるか否かの判定処理（以下、「GY判定処理」という。）が行われ、帳票等に当該判定の表示（以下、「GY判定表示」という。）がされるところ、特例申告（申告等種別コード：T）及び特例委託特例申告（V）においてはGY判定処理の対象外となっており、帳票等にGY判定表示がされないため、税関に提出すべきものとされている書類があるか一目で判別できない。
- AEOにおいては、原産地証明書及び原産品申告書等の提出に代えて保管することが認められているが、GY判定処理に原産地証明書等の提出を不要とする判定機能がないため、提出要の判定表示がされてしまう。

(輸入申告控の帳票イメージ)

<AIR/IMP>		「帳票タイトル」 (輸入申告控-A)		yyyy/MM/dd HH:mm 1 / 2	
S*****	代表税番 XXXE X	申告種別 XXE X X [X]	区分 XXX E	あて先税関 XXXXXXXXE	部門 XE
			申告条件 [X]	申告年月日 yyyy/MM/dd	申告番号 XXX XXXX XX1E
輸入者住所	XXXXXXXX1XXX-XXE	XXXXXXXXXX1XXXXXX	XXXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXXXXXX4XXXXXXXXX5XXXXXXXXX6XXXXXXXXXE		
電話	XXXXXXXXX1E	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	GY判定表示 (審査検査区分欄の4桁目)	XXXXXXXXXXE
税関事務管理人	XXXXXXXXX1XXX-XXE	XXXX-XX-XX	XXXXXXXXXX1		XXXXXXXXXXE
輸入取引者住所	XXXXXXXXX1XXX-XXE	XXXXXXXXXX1	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXXXXXX4XXXXXXXXX5XXXXXXXXX6XXXXXXXXXE		
仕出人住所	XXXXXXXXX-1XE	XXXXXXXXXX1	XXXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXE XXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXE		
輸出の委託者代理人	XXXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXXXXXX4XXXXXXXXXE	通関士コード XXXXE	検査立会者 XXXXE		

(特例申告控の帳票イメージ)

<AIR/IMP>		「帳票タイトル」 (特例申告控-A)		yyyy/MM/dd HH:mm 1 / 2	
S*****	代表税番 XXXE X	申告種別 XXE	あて先税関/部門 XXXXXXXXE XE	申告年月日 yyyy/MM/dd	特例あて先税関/部門 XXXXXXXXE XE
				特例申告年月日 yyyy/MM/dd	申告番号 XXX XXXX XX1E
輸入者住所	XXXXXXXX1XXX-XXE	XXXXXXXXXX1	XXXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXXXXXX4XXXXXXXXX5XXXXXXXXX6XXXXXXXXXE		
電話	XXXXXXXXX1E	XXXXXXXXXX	XXXXXXXXXX	GY判定表示なし	XXXXXXXXXXE
税関事務管理人	XXXXXXXXX1XXX-XXE	XXXX-XX-XX	XXXXXXXXXX1		XXXXXXXXXXE
輸入取引者住所	XXXXXXXXX1XXX-XXE	XXXXXXXXXX1	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXE XXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXE		
仕出人住所	XXXXXXXXX-1XE	XXXXXXXXXX1	XXXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXE XXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXE		
輸出の委託者代理人	XXXXXXXXX1XXXXXXXXX2XXXXXXXXX3XXXXXXXXX4XXXXXXXXXE	通関士コード XXXXE	検査立会者 XXXXE		

変更概要

- 特例申告（T）及び特例委託特例申告（V）においてもGY判定処理を行い、特例申告控等の帳票等にGY判定表示をすることで、通関手続きの業務効率化を図る。
- AEOにおいては提出不要の原産地証明書等について、現在、GY判定において要提出が出力されているため、これを改善し、特例申告（T）、特例委託特例申告（V）、輸入（引取・特例）申告（J）、特例委託輸入（引取・特例）申告（P）及び蔵出輸入（引取・特例）申告（R）において、要提出の判定表示を出力しない機能を追加する。
- 特例申告の期限内訂正についてもGY判定処理を行うこととする。

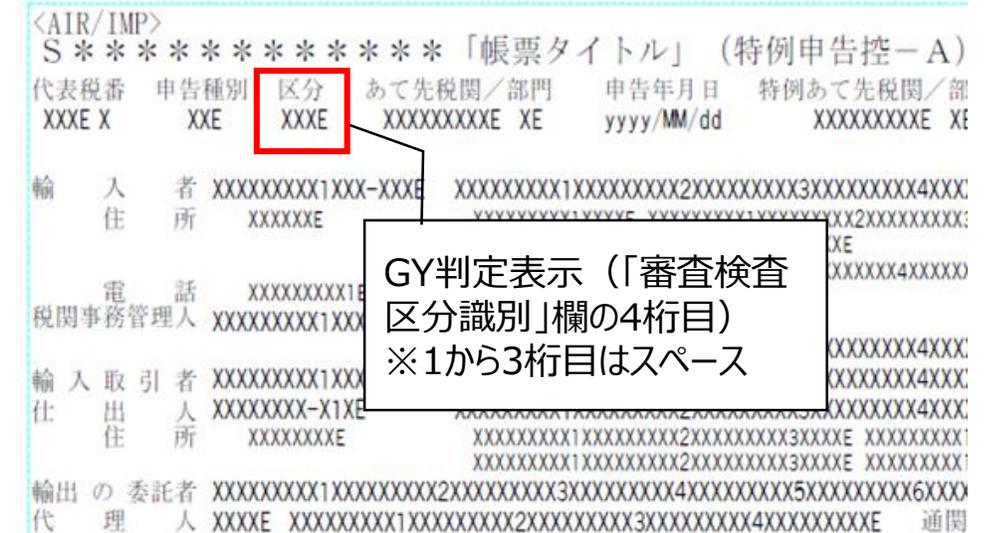
変更対象となる帳票

「審査検査区分識別」欄4桁目にGY判定表示を出力する。

(特例申告控の帳票イメージ)

レイアウト 枝番	名称	出力情報コード			
		航空	海上	再出力 (航空)	再出力 (海上)
+1	特例申告控	AADBAC AADBBC AADBCC	SADBAC SADBBC SADBCC	ARDBAC ARDBBC ARDBCC	SRDBAC SRDBBC SRDBCC
+1	特例申告納期限 延長申請（酒税・ たばこ税）控	AADCCC AADCBC	SADCCC SADCBC	ARDCCC ARDCBC	SRDCCC SRDCBC

※出力項目表の桁数に変更無し(4桁のまま)



変更対象となる画面

「審査検査区分識別」欄4桁目にGY判定表示を出力する。

レイアウト 枝番	名称	出力情報コード	
		航空	海上
+1	特例申告照会情報	AADBAP AADBBP AADBCP	SADBAP SADBBP SADBCP
+1	特例申告照会（輸 出入者用）情報	AAD05C	SAD05C
—	輸入申告等一覧照 会情報	AAD443	SAD443

（輸入申告等照会（IID0W） 特例申告照会情報）

輸入申告等照会 (IID0W)

特例申告照会情報：航空 入出力ガイド

続けて照会する場合は、照会条件を指定し、[次の照会]をクリックしてください。

照会条件

1. 共通情報 | 2. 繰返情報

あて先官署、審査検査区分等

代表税番	XXXX	大額・少額識別	E
申告等種別コード	XXE	区分	XXXX
あて先税関	XXXXXXXXXE	部門	XE
申告年月日	YYYY/MM/DD		
特例あて先税関	XXXXXXXXXE	特例部門	XE
特例申告日	E	輸入（引取）許可日	YYYY/MM/DD

輸入者：税関事務管理人、什出人等

（輸入申告等照会（IID） 特例申告照会情報）

IID 特例申告照会情報

ファイル(F) 表示(V)

共通部 繰返部

代表税番 申告種別 区分 あて先税関 部門 申告年月日 特例あて先税関 特例部門 特例申告日 申告番号

引取・特例識別 輸入（引取）許可日

輸入者

特例申告の場合も出力対象とし、GY判定表示（「審査検査区分識別」欄の4桁目）
※1から3桁目はスペース

変更対象となる管理資料

「輸入申告審査区分別一覧表 (I56)」

収集対象に特例申告を追加する（特例申告期限内訂正も対象。ただし、一括特例申告は収集対象外）。また、特例申告についてY判定処理を行い、判定結果を出力する。

(出力共通項目)									
99999999	X								
輸入申告審査区分別一覧表									
海上									
あて先官署	あて先部門	審査区分						年月日	B/L番号
XXX	XXX	XX						999	XXXXXXXXX1XXXXXXXXX
XXX	XXX	XX						999	XXXXXXXXX1XXXXXXXXX
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX1Y	YYYYYYYYY1Y	YYYYYYYYY1Y	YYYYYYYYY1Y	00000000	00000000	XXXXXXXXX1XXXXXXXXX
航空									
あて先官署	あて先部門	審査区分	申告等番号						B/L番号
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX						XXXXXXXXX1XXXXXXXXX
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX						XXXXXXXXX1XXXXXXXXX
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX						XXXXXXXXX1XXXXXXXXX
航空MF									
あて先官署	あて先部門	審査区分	申告等番号	輸					号
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX1X	XXX					X1XXXXXXXXX
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX1X	XXX					X1XXXXXXXXX
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX1X	XXX					X1XXXXXXXXX
特例申告									
あて先官署	あて先部門	審査区分	申告等番号	輸入者コード	輸入者名	輸入者コード (入力)	申告等年月日	許可年月日	B/L番号
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX1X	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXX	XXXXXXXXXX1XX	XXXXXXXXXX1XXX	99999999	99999999	XXXXXXXXX1XXXXXXXXX
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX1X	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXX	XXXXXXXXXX1XX	XXXXXXXXXX1XXX	99999999	99999999	XXXXXXXXX1XXXXXXXXX
XXX	XXX	XX	XXXXXXXXXX1X	XXXXXXXXXX1XXXXXXXXX	XXXXXXXXXX1XX	XXXXXXXXXX1XXX	99999999	99999999	XXXXXXXXX1XXXXXXXXX
合計									
あて先官署		区分1 Y	区分1	区分2	区分3	区分3 K	区分3 X	区分Z	
XXX		XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	
XXX		XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	XXXXXXX	

「情報名」：海上、航空、航空MF別に計上し、出力
情報名に特例申告を追加し、海上、航空、航空MFとは別に計上し、出力する。

「審査区分」：1桁目に審査区分、2桁目に検査区分を出力
特例申告の場合で通関関係書類の提出が必要な場合は2桁目に"Y"を出力する
※特例申告の場合は、1桁目の審査区分は出力しない

「区分xx」：あて先官署単位で集計した審査区分の合計件数を出力
特例申告の場合の計上先については検討中。

B.特例申告の期限内訂正可能化

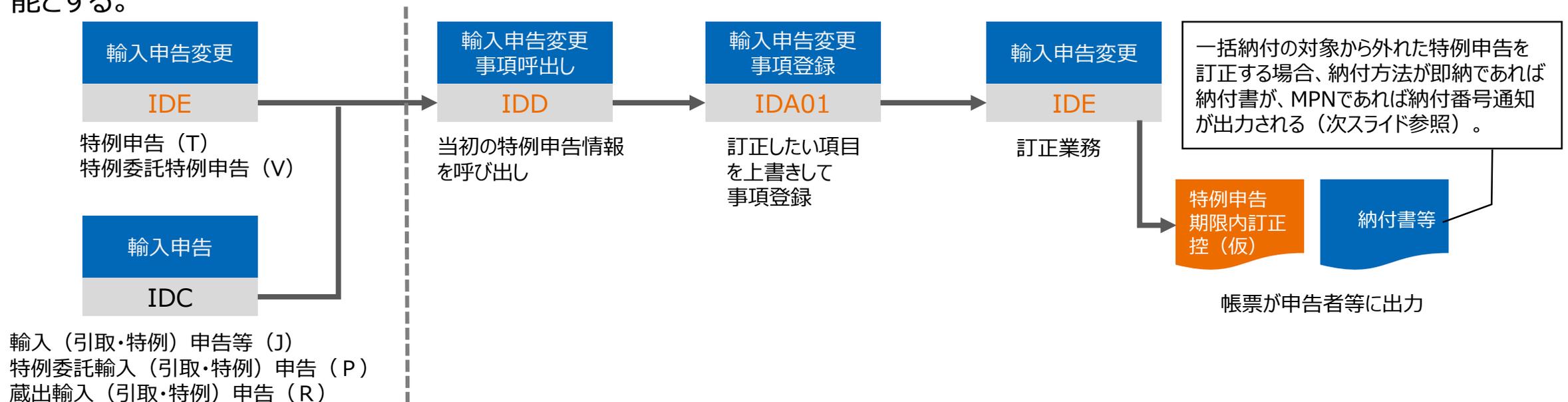
区 分	概 要
1. 検討項目	特例申告の期限内訂正可能化
2. 変更要望	特例申告の期限内訂正に係る業務を新設し、事務効率化を図る。
3. 次期仕様	<ul style="list-style-type: none">① 特例申告の期限内訂正について、既存業務を利用してシステムで行えるようにする。② 期限内訂正を行うことができる申告は、特例申告（申告等種別コード：T）、輸入（引取・特例）申告（J）、特例委託特例申告（V）、特例委託輸入（引取・特例）申告（P）及び蔵出輸入（引取・特例）申告（R）とする。③ 一括納付の対象となる申告（即納）を訂正する場合は、一括納付書等の出力日の前日（特定日）まで実施可能とする。一方、一括納付の対象から外れた申告（即納）を訂正する場合は、納税を行わない限り、特例申告期限日まで実施可能とする。④ 特例申告納期限延長を利用する申告を訂正する場合は、特例申告期限日まで実施可能とする。

現行概要

特例申告後、特例申告書の提出期限（「特例申告期限日」という。）までに税額等の訂正を行いたい場合、システムで行うことができない（マニュアル対応）。

変更概要①

- 特例申告の期限内訂正について、既存業務を利用してシステムで行えるようにする。
- 期限内訂正を行うことができる申告は、特例申告（申告等種別コード：T）、特例委託特例申告（V）、輸入（引取・特例）申告（J）、特例委託輸入（引取・特例）申告（P）、蔵出輸入（引取・特例）申告（R）とする。
- 期限内訂正を行うと、申告者等に新規帳票「特例申告期限内訂正控（仮）」が出力される。
- 期限内訂正は、納税方式（即納、納期限延長）や納付方法（直納、MPN、リアルタイム口座振替）に関わらず実施可能とする。

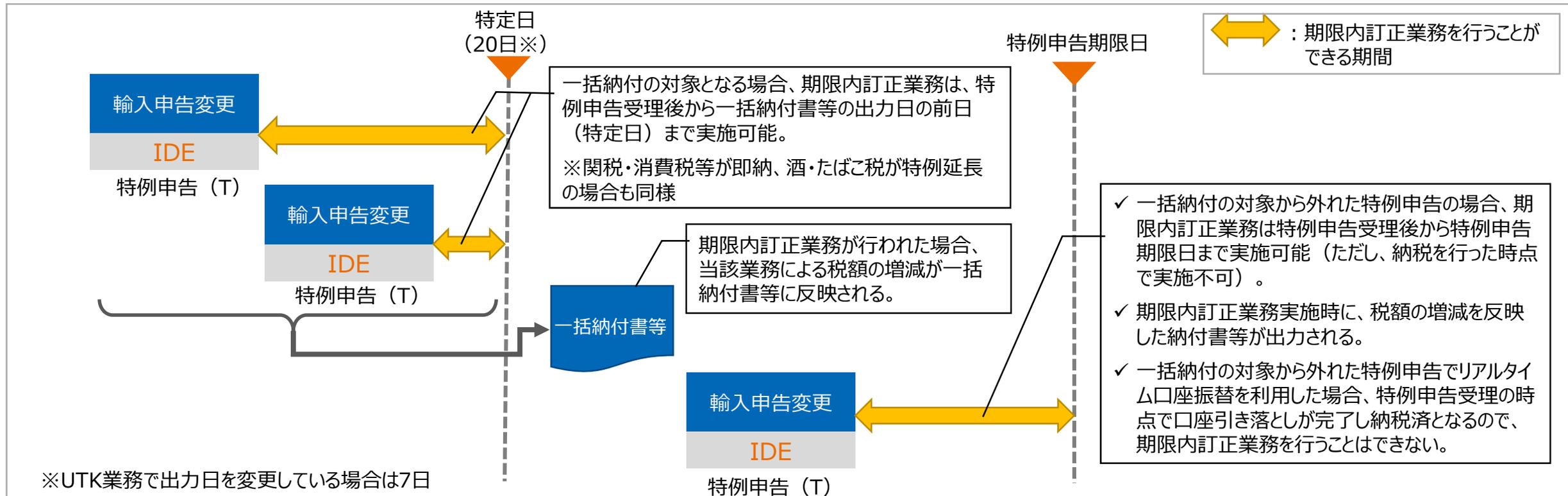


変更概要②

システムで期限内訂正業務を行える期間は以下のとおり。

- 一括納付の対象となる申告（即納）を訂正する場合は、一括納付書等の出力日の前日（特定日）まで実施可能とする。一方、一括納付の対象から外れた申告（即納）を訂正する場合は、納税を行わない限り、特例申告期限日まで実施可能とする。
- 特例申告納期限延長を利用する申告を訂正する場合は、特例申告期限日まで実施可能とする。

（例）特例申告（申告等種別コード：T）で即納の場合



新規追加となる帳票

以下の帳票（出力情報コード）を新設する。

名称	出力情報コード			
	航空	海上	再出力 (航空)	再出力 (海上)
特例申告 期限内訂正 控	AADFAC0 AADFBC0 AADFCC0	SADFAC0 SADFBC0 SADFCC0	ARDFAC0 ARDFBC0 ARDFCC0	SRDFAC0 SRDFBC0 SRDFCC0

(特例申告期限内訂正控（仮）の帳票イメージ)

帳票イメージの注釈:

- 帳票タイトルを「特例申告期限内訂正控（内国消費税等課税標準数量等申告控兼用）」にして出力
- スライド5による変更

新規追加となる画面

以下の画面（出力情報コード）を新設する。

名称	出力情報コード	
	航空	海上
特例申告期限内訂正事項登録情報（※1）	AAD6390	SAD6390
特例申告期限内訂正入力控情報（※2）	AADFAB0 AADFBB0 AADFCB0	SADFAB0 SADFBB0 SADFCB0
通関士審査内容(特例申告期限内訂正)情報（※3）	AADFAQ0 AADFBQ0 AADFCQ0	SADFAQ0 SADFBQ0 SADFCQ0

- ※1 特例申告後に「輸入申告変更事項呼出し（IDD）」業務で呼出した後に出力される出力情報コード
- ※2 「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務で期限内訂正の事項登録を行うことで出力される出力情報コード
- ※3 「輸入申告変更事項登録（IDA01）」業務で期限内訂正の事項登録を行った後、「通関士審査内容呼出し（CCB）」業務で呼出した後に出力される出力情報コード

変更概要③

期限内訂正業務で訂正可能な項目は以下のとおり（グレーアウトしている項目は入力不可）。

（輸入申告変更事項登録（IDA01）業務 入力画面）

IDA01.ATK 輸入申告変更事項登録（特例申告）

ファイル(F) 表示(V)

共通部 繰返部

申告番号*

大額/少額* 申告等種別*

あて先官署 あて先部門 特例あて先官署 特例あて先部門

輸入者

住所

電話

税関事務管理人 受理番

蔵置場所

輸入取引者

仕出人

住所

検査立会者

AWB MAWB

貨物個数 個 貨物重量（グロス）

積載機名 入港年月日

取卸港 積出地 貿易形態別符号

輸入（引取・特例）申告等（J）、特例委託輸入（引取・特例）申告（P）又は蔵出輸入（引取・特例）申告（R）の場合のみ、申告等種別コード欄に「T」又は「V」を入力する運用を想定している。

変更概要③ (続き)

(輸入申告変更事項登録 (IDA01) 業務 入力画面)

戻税申告	<input type="checkbox"/>	貿易管理令	<input type="checkbox"/>	輸入承認証	<input type="checkbox"/>	内容点検結果	<input type="checkbox"/>	調査用符号	<input type="text"/>
他法令	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	共通管理番号	<input type="text"/>	食品	<input type="checkbox"/>	植防	<input type="checkbox"/>
輸入承認証等1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	6	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
7	<input type="text"/>	<input type="text"/>	8	<input type="text"/>	<input type="text"/>	9	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
10	<input type="text"/>	<input type="text"/>							
仕入書識別*	<input type="checkbox"/>	電子仕入書受付番号	<input type="text"/>	仕入書番号	<input type="text"/>				
仕入書価格	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>		
運賃	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	保険	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>
評価	<input type="checkbox"/>	包括評価番号1	<input type="text"/>	2	<input type="text"/>	3	<input type="text"/>		
		補正	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>	-	<input type="text"/>		
		事前教示 (評価) 1	<input type="text"/>	2	<input type="text"/>				
BPR係数合計	<input type="text"/>								
納期限延長	<input type="checkbox"/>	納付方法	<input type="checkbox"/>	口座番号	<input type="text"/>	担保番号	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
記事 (税関)	<input type="text"/>								
記事 (通関)	<input type="text"/>								
記事 (荷主)	<input type="text"/>								
荷主セクションコード	<input type="text"/>	荷主Ref No.	<input type="text"/>						
社内整理番号	<input type="text"/>								

納付方法 (直納、MPN、リアルタイム口座振替) の変更が可能

変更概要③ (続き)

(輸入申告変更事項登録 (IDA01) 業務 入力画面)

IDA01.ATK 輸入申告変更事項登録 (特例申告)

ファイル(F) 表示(V)

共通部 繰返部

1 / 25

<01 欄> 品目番号* 品名 原産地* -

数量1 - 数量2 - 輸入令別表

BPR係数 運賃按分 課税価格

事前教示(分類) (原産地)

関税減免税コード 関税減税額

	内消費税等種別	減免税コード	内消費税減税額		内消費税等種別	減免税コード	内消費税減税額
1	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	2	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
3	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	4	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
5	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	6	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

<02 欄> 品目番号* 品名 原産地* -

数量1 - 数量2 - 輸入令別表

変更対象となる管理資料

「輸入貨物許可承認等実績データ (I52)」 — 収集対象に特例申告期限内訂正を追加する。

(出力共通項目)															
99999900 X															
輸入貨物許可承認等実績データ															
官署	輸入申告				特例申告			少額申告			特例申告期限内訂正				
	大額賦課課税		有税通常申告		大額申告		有税	免税	無税	有税	免税	無税	有税	免税	無税
	有税	通常申告	つづき枚数	有税	予備申告	つづき枚数	有税	免税	無税	有税	免税	無税	有税	免税	無税
XX	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ										
XX	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ										
XX	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ										

特例申告期限内訂正

大額申告		少額申告			
有税	免税	無税	有税	免税	無税
ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ
ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ
ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ

「輸入貨物取扱実績データ (I54)」 — 収集対象に特例申告期限内訂正を追加する。

(出力共通項目)													
99999999 X													
輸入貨物取扱実績データ													
官署	輸入申告				特例申告			特例申告期限内訂正					
	大額申告納税		有税		申告納税大額			申告納税少額					
	通常申告	つづき枚数	予備申告	つづき枚数	有税	免税	無税	有税	免税	無税	有税	免税	無税
XX	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ							
XX	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ							
XX	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ							

前月に行われた特例申告期限内訂正の実績を集計する。

特例申告期限内訂正

申告納税大額		申告納税少額			
有税	免税	無税	有税	免税	無税
ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ
ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ
ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ	ZZZZZZ

「輸入申告審査区分別一覧表 (I56)」 — 収集対象に特例申告期限内訂正を追加する。(イメージ図はスライド7参照)

「包括保険使用実績データ (I57)」 — 収集対象に特例申告期限内訂正を追加する。特例申告期限内訂正用の申告等種別のコードを追加する。(出力レイアウトに変更なし)

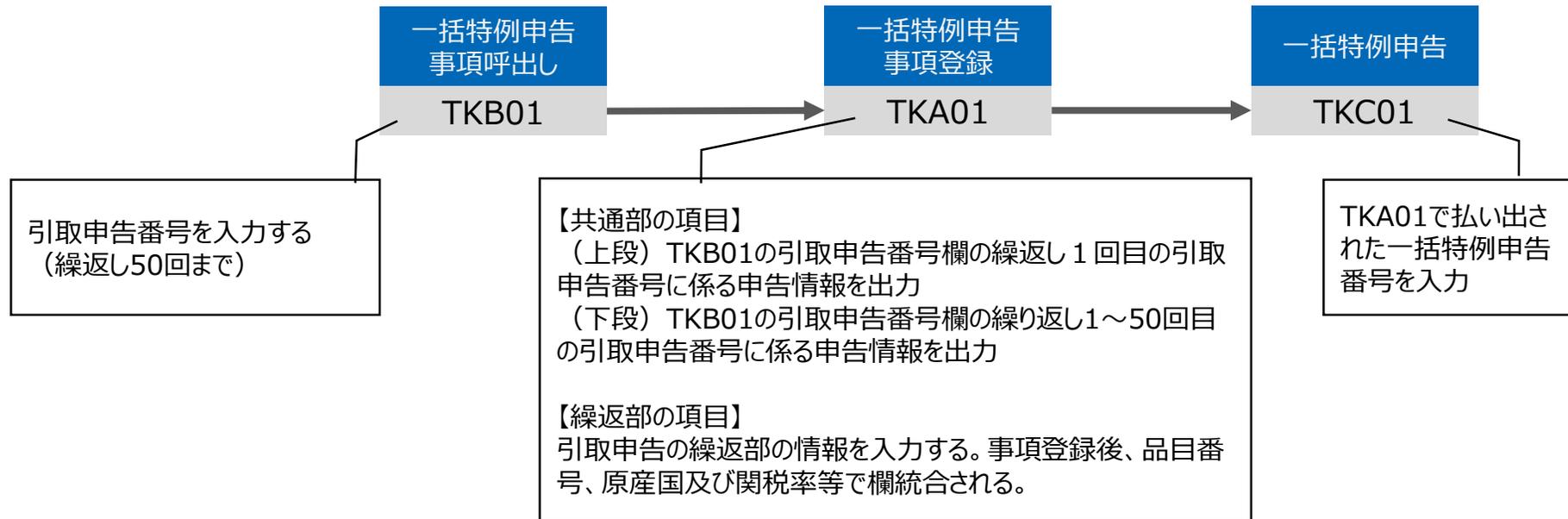
C.一括特例申告の利便性向上

区 分	概 要
1. 検討項目	一括特例申告の利便性向上
2. 変更要望	「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務について、輸入（引取）申告番号をシステムで補完し、事務効率化を図る。
3. 次期仕様	<ul style="list-style-type: none"><li data-bbox="453 686 2456 848">① 「一括特例申告事項呼出し（TKB01）」業務にて、輸入者コード等を入力をすることで、特定月の引取申告番号を一括して呼び出し可能とする。なお、呼び出し時は、特例申告済及び一括特例申告済の引取申告番号を除外して呼び出せるようにする予定。<li data-bbox="453 872 2456 976">② 呼び出した引取申告番号にかかる申告情報を「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務の共通部だけでなく、繰返部にも出力可能とする。<li data-bbox="453 1001 2456 1162">③ 「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務における繰返部の欄数を99欄まで拡大する。なお、一回の「一括特例申告（TKC01）」業務で全ての引取申告分、申告できなかった場合は、残りの申告分を「一括特例申告事項呼出し（TKB01）」業務から呼び出して、繰返し申告可能。

現行概要①

現行の一括特例申告には以下の課題がある。

- 「一括特例申告事項呼出し（TKB01）」業務にて、該当の引取申告番号を入力する必要がある。
- 「一括特例申告事項呼出し（TKB01）」業務から呼び出した引取申告の申告情報は、「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務の共通部にしか出力できないため、繰返部は入力する必要がある。
- 「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務の繰返部で入力可能な欄数は50欄までとなっており、件数が多い場合に対応できない。



現行概要② (画面遷移イメージ)

一括特例申告事項呼出し (TKB01)

一括特例申告事項登録 (TKA01) 共通部

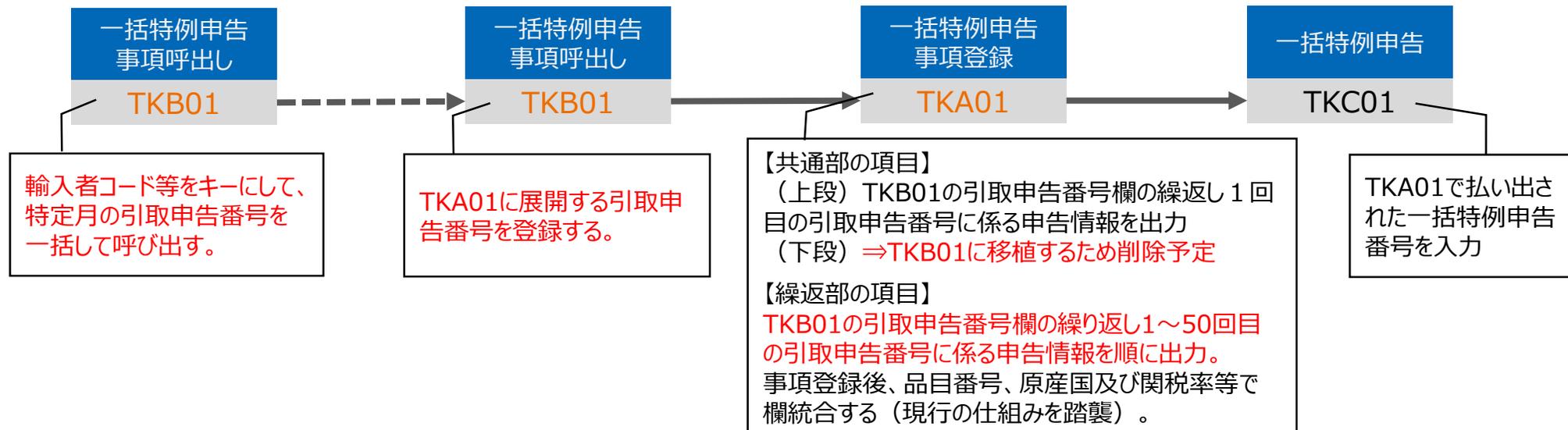
一括特例申告事項登録 (TKA01) 繰返部

引取申告番号欄 1~50に入力した申告番号にかかる情報をTKA01の共通部下段に出力。

変更概要①

一括特例申告について、以下のとおり、利便性向上を図る。

- 「一括特例申告事項呼出し（TKB01）」業務にて、輸入者コード等を入力することで、特定月の引取申告番号を一括して呼び出し可能とする。呼び出しを行える引取申告番号は、TKB01実施者が取り扱った引取申告分のみとし、他社取り扱い分も呼び出したい場合は、TKB01の引取申告番号欄に該当の引取申告番号を入力することを想定している。なお、呼び出し時は、特例申告済及び一括特例申告済の引取申告番号を除外して呼び出せるようにする予定。
- 呼び出した引取申告番号にかかる申告情報を「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務の共通部だけでなく、繰返部にも出力可能とする。
- 「一括特例申告事項登録（TKA01）」業務における繰返部の欄数を99欄まで拡大する。なお、一回の「一括特例申告（TKC01）」業務で全ての引取申告分、申告できなかった場合は、残りの申告分を「一括特例申告事項呼出し（TKB01）」業務から呼び出して、繰り返し申告可能。



変更概要② (画面遷移イメージ)

輸入者コード等を入力して、特定月の引取申告番号を一括して呼び出す (①の項目を入力して送信をすると、②に引取申告番号等が展開される。)

①の入力項目は、「輸入者コード」、「あて先税関コード」、「都道府県コード」の他、「特定月」、「特例申告か特例委託輸入申告か選択する項目」を設ける予定。

一括特例申告事項呼出し (TKB01)

① 一括特例申告番号

輸入者 あて先税関 都道府県

対象外識別	引取申告番号	蔵置場所	引取許可年月日	欄数	対象外識別	引取申告番号	蔵置場所	引取許可年月日	欄数
(1)	<input checked="" type="checkbox"/>	10005553010	XXXXX	XXXX/XX/XX	2	(2)			
(3)	<input checked="" type="checkbox"/>	10005553120	XXXXX	XXXX/XX/XX	1	(4)			
(5)	<input type="checkbox"/>				(6)				
(7)	<input type="checkbox"/>				(8)				
(9)	<input type="checkbox"/>				(10)				
(11)	<input type="checkbox"/>				(12)				
(13)	<input type="checkbox"/>				(14)				
(15)	<input type="checkbox"/>				(16)				
(17)	<input type="checkbox"/>				(18)				
(19)	<input type="checkbox"/>				(20)				
(21)	<input type="checkbox"/>				(22)				
(23)	<input type="checkbox"/>				(24)				
(25)	<input type="checkbox"/>				(26)				
(27)	<input type="checkbox"/>				(28)				
(29)	<input type="checkbox"/>				(30)				
(31)	<input type="checkbox"/>				(32)				
(33)	<input type="checkbox"/>				(34)				
(35)	<input type="checkbox"/>				(36)				
(37)	<input type="checkbox"/>				(38)				
(39)	<input type="checkbox"/>				(40)				
(41)	<input type="checkbox"/>				(42)				
(43)	<input type="checkbox"/>				(44)				
(45)	<input type="checkbox"/>				(46)				
(47)	<input type="checkbox"/>				(48)				
(49)	<input type="checkbox"/>				(50)				

②で呼び出す引取申告番号は特例申告済及び一括特例申告済のものは除外して呼び出す予定。呼び出し後、対象外にしたい申告がある場合は、「対象外識別」欄にチェックを入れて送信する。
また、引取申告番号を手入力することも可能。他社が取り扱った引取申告分も合わせて一括特例申告を行いたい場合は、該当の引取申告番号を手入力することを想定。

一括特例申告事項登録 (TKA01) 共通部

③ TKA01 一括特例申告事項登録

ファイル(F) 表示(V)

共通部 繰返部

一括特例申告番号

大額/少額* 申告等種別* 特例あて先官署* 特例あて先部門

輸入者*

住所

税関事務

輸入

課税価格合計* BPR係数合計

戻税申告 調査用符号

納期限延長 納付方法 口座番号 担保番号

記事 (税関)

記事 (通関)

記事 (荷主)

荷主セクションコード 荷主Ref No.

社内整理番号

対象外識別	引取申告番号	蔵置場所	引取許可年月日	対象外識別	引取申告番号	蔵置場所	引取許可年月日
(1)				(2)			
(3)				(4)			
(5)				(6)			
(7)				(8)			
(9)				(10)			
(11)				(12)			

TKB01に移植するため削除予定

変更概要② (画面遷移イメージ) (続き)

- TKB01の引取申告番号から、該当の引取申告にかかる繰返部の情報を出力する。上限欄数（99欄）を超えた場合は、エラーまたは注意喚起メッセージを出力する。
- 繰返部への出力は、引取申告の事項登録で欄統合（※）する前の情報を出力。
※引取申告事項登録時に、品目コードと原産地コードで欄統合している。

一括特例申告事項登録（TKA01）繰返部

引取申告時の情報と紐づけるために、各欄に「引取申告番号」及び「引取申告欄番号」を出力項目として追加する予定。

TKA01 一括特例申告事項登録

ファイル(F) 表示(V)

共通部 繰返部

1 / 13

<01欄> 品目番号* 350300012 6 品名 GLUES 原産地* US -

数量1 1 - KG 数量2 -

BPR係数 300000 課税価格

関税減免税コード 関税減税額

内消費税等種別	減免税コード	内消費税減税額	内消費税等種別	減免税コード	内消費税減税額
1			2		
3			4		
5			6		

<02欄> 品目番号* 350300012 6 品名 GLUES 原産地* US -

数量1 2 - KG 数量2 -

BPR係数 400000 課税価格

関税減免税コード 関税減税額

内消費税等種別	減免税コード	内消費税減税額	内消費税等種別	減免税コード	内消費税減税額
1			2		
3			4		
5			6		

<03欄> 品目番号* 350300012 6 品名 GLUES 原産地* US -

数量1 3 - KG 数量2 -

BPR係数 500000 課税価格

関税減免税コード 関税減税額

内消費税等種別	減免税コード	内消費税減税額	内消費税等種別	減免税コード	内消費税減税額
1			2		
3			4		
5			6		

TKB01で入力した引取申告番号にかかる申告（繰返部）の情報

引取申告番号：10005553010の欄情報

<01欄> 品目番号* 350300012 6 品名 原産地* US

数量1 1 - KG 数量2 - 輸入令別表

仕入書価格* 300000

事前教示(分類) (原産地)

<02欄> 品目番号* 350300012 6 品名 原産地* US

数量1 2 - KG 数量2 - 輸入令別表

仕入書価格* 400000

事前教示(分類) (原産地)

引取申告番号：10005553120の欄情報

<01欄> 品目番号* 350300012 6 品名 原産地* US

数量1 3 - KG 数量2 - 輸入令別表

仕入書価格* 500000

事前教示(分類) (原産地)